

# みのり

学校ホームページ <http://www.kamonorin-h.nein.ed.jp>

## 校内プロジェクト発表会、内容の濃さに驚き！

～15グループが堂々の発表、運営もスムーズに～



1月22日(水)、校内プロジェクト発表会が開催され、15グループがこれまでの研究成果をステージ上で堂々と発表しました。また、青海会の新役員がスムーズに準備・運営を行い、全校生徒もメモを取りながら聞くなど、内容・運営ともに充実した発表会となりました。

審査員の先生方からは、「濃い内容で興味深かった」「持続的で安定的な環境への配慮が随所に見られた」「パワーポイントの文字や写真が工夫されていた」などのお褒めの言葉。同時に「疑問が出たら自分で調べたり人に聞いたりして、さらに研究を深めてほしい」と助言をいただきました。

今普通科の高校でも「課題研究」や「プロジェクト学習」を取り入れる動きが広がっています。農業高校の学びが評価されていると言ってもよいでしょう。3年生は、農業高校での学びに誇りを持って次のステージに進んでください。1・2年生は先輩の取組に学びながらさらに研究を深めてください。期待しています。

### 【各コース等の発表テーマ】

#### 《分野II類》

- ◎食品製造3年:「加茂のお土産開発【かもまん】加茂産フルーツの新しい可能性」
- ・果樹3年:「川船農場果樹園における鳥獣被害対策について」

#### 《分野III類》

- ・草花3年:「巨大コケ玉で地域貢献～狙え!!世界のインスタ映えスポット～」
- ◎生命情報3年:「ホタルが舞う故郷を目指して」
- ・環境土木3年:「伐採した植物の有効活用～スゲガサ作りに挑む～」

- 緑地工学3年:「地域を炭焼きで守れ! 森林資源の有効利用についての研究」

#### 《オープン参加》

- ・FS(フロンティア・サポーターズ):「環境未来都市2030～SDGsを活用した持続可能な地域社会づくり～」

#### 《分野I類》

- ・動物3年:「私たちの川船農場をみんなで守ろう!」
- 野菜2年:「有機資材を使用した微生物活性化農法、こだわり野菜生産プロジェクト」
- ・生命情報2年:「ヒメサユリの無菌播種法による発芽期間の短縮」
- ・野菜3年:「加茂市の野菜栽培の現状及び野菜流通の実態の把握～ブルームキュウリ「加茂の意地」のマーケティング～」
- ・作物3年:「ぼくらの複合経営」
- ◎生命情報2年:「土着菌を用いた堆肥の研究」
- ・動物2年:「動物コース2年生の課題研究～家畜の発育ステージを理解し、管理技術を習得する～」
- ・生命情報3年:「光色の違いによるパンジーの生育と開花期の変化について」

◎最優秀賞(県大会出場決定)、○優秀賞

## 森山萌瑛選手、スキーインターハイ出場決定!



1月14～17日の県高校スキー大会で、森山萌瑛選手(3-1)が、大回転10位、回転11位に入り、見事スキーインターハイ(in妙高市)の出場権を得ました。

森山選手は高校から競技スキーを始めメキメキと上達した注目の選手。本校スキー部でIHに2種目出場するのは初で、OBOGや加茂スキークラブの皆さんからも応援をいただいています。

地元開催の「地の利」を生かし、悔いの残らないように頑張ってください。応援しています。

## 農業高校等HPコンテスト県代表に選出！



慶應義塾大学SFC研究所が主催する第4回全国農業高等学校・農業大学校ホームページコンテストの1次審査が行われ、本校のHPが新潟県代表校(特別推薦)に選出されました。HPの内容、見やすさ、更新回数などが選出の理由です。

3月25日には慶應義塾大学三田キャンパスで開催される表彰式にご招待を受けました。生徒の頑張りにより伝わるHPづくりにこれからも取り組みます。

## 作物コース、先輩農家からSPH講話！

1月16日(木)、作物コース1・2年生を対象としたSPH講話が開かれました。生徒からは「農業土木科の卒業で、今大きな米農家を経営されていることに驚いた」「お米づくりのやりがいを感じて良かった」などの感想。有意義だったことが伺えます。

今年度、各コースともほぼ2回の講演会とバスでの現場見学を経験し、学びを深めました。産業界の皆様へ感謝です！



## 新潟薬科大学出前講座でバイテクに触れる！



1月30日(木)、県の高校特色化地域人材活用事業の一環で、新潟薬科大学応用生命科学部の植物細胞工学研究室の皆さんから、1年5組生命情報コース生徒19

名に出前講座をしていただきました。

「植物科学の最近の進歩と将来展望」と題する講義では、交配による品種改良や雑種を確認する方法、DNA鑑定についてわかりやすく解説。実験では、細菌のDNAを抽出し、DNAマーカー(写真)により分析しました。生徒は「近くにこうした大学があることがわかり、バイオテクノロジーに興味を持った」「大学3年の0Bに来ていただき、気さくにお話しできて楽しかった」などの声。大学の研究の一端に触れ、進路を考えるきっかけにもなったようです。

## SPHの成果、文部科学省講堂で発表！



【←発表のブース】



【ポスター展示→】

2月3日(月)、文部科学省の旧文部省庁舎6階第2講堂で、令和元年度スーパー・プロフェッショナル・ハイスクール(SPH)成果発表会が開かれ、研究指定最終年度を迎えた11校が発表を行いました。

本校からは研究主任がパワーポイントを用いて、取組の概要、成果と今後の課題について発表。外部委員の方々から「段階を踏んだカリキュラムで、生徒の様々な力を伸ばしている」「農業科の教員だけでなく、普通科の教員も加わった全校体制で、組織的に取り組んでいる」「これからの農業の目指すところは、SDGs(持続可能な開発目標)と重なるところが大きい。今後の取組に期待している」「我が国が元気になるには地域が元気になることが必須。地域(産業)を支える人材を誇りを持って育ててほしい」など、評価と激励をいただきました。

SPH指定期間は終わりますが、財産を引き継いで生徒の育ちを応援する取組にブラッシュアップしていきます。

## センター試験に幕、次は大学入学共通テスト！

1月18・19日、最後の大学入試センター試験が行われ、30年の歴史に幕を下ろしました。

現高校2年生が受験する令和3年度入試からは大学入学共通テストに変わります。民間の英語資格・検定試験の活用や、国語・数学の記述式問題導入が見送られ、「何が変わるの?」と感じている人もいますが、重要な変化があるのです。それは、「知識・技能のみならず、思考力・判断力・表現力も重視して評価を行うものとする」という実施の趣旨です。マーク式の出題形式は変わりませんが、「思考力・判断力・表現力」を問う工夫がされると思います。大学進学を考えている生徒は、心して力を付けてください。

